

# JR連合 政策News

第238号

2013年8月29日

平成26年度鉄道局関係予算概算要求

## JR連合の要望事項が盛り込まれる

国土交通省は8月27日、平成26年度の予算案の概算要求のとりまとめを行い、JR連合がかねてから要望してきた①安全・防災対策②老朽設備の維持管理・更新③整備新幹線建設推進④バリアフリー化推進等の項目が盛り込まれた。

安全・防災対策では、発生の可能性が指摘されている南海トラフ巨大地震に備え、主要駅や高架橋の耐震補強推進に加えて、新たに本州四国連絡橋（瀬戸大橋）の本格的な耐震補強への助成制度が創設された。

老朽施設の維持管理・更新の推進は、鉄道施設の倒壊等による被害を事前に防ぐための橋りょう、トンネルの大規模な改良を推進するとともに、長寿命化に資する改良に対して、助成制度が新設された。

整備新幹線関係では、フリーゲージトレインの技術開発費に加え、青函共用走行区間の貨物列車走行調査費が盛り込まれた。新幹線列車と貨物列車が共用走行する青函トンネルにおいて、安全性を確保しつつ新幹線列車を高速走行させるための技術的な検討を行っていくこととなる。

バリアフリー化の推進は、引き続き、ホームドアの整備や技術開発、エレベータ等の設置への助成が盛り込まれた。

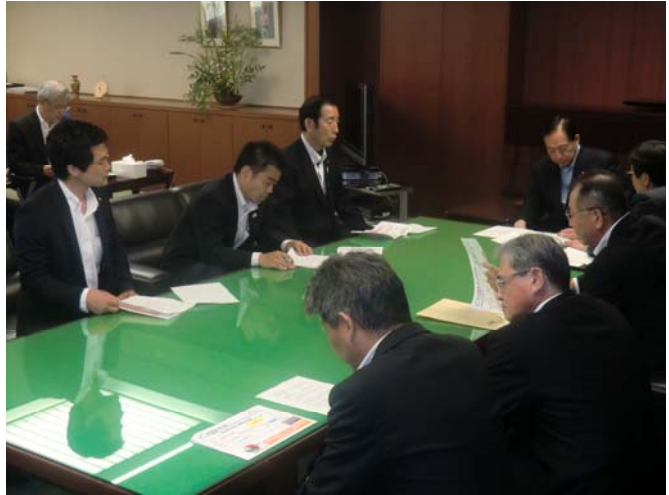
JR連合は、JR各社との意見交換を踏まえ、安全確立や耐震補強などの防災対策強化、青函共用走行問題、バリアフリー設備の投資促進並びにメンテナンスに対する支援を中心とする交通重点政策のとりまとめを行い、今年4月に鉄道局との意見交換会を行ったのを皮切りに、JR連合国会議員懇談会や政策プロジェクトでの議論を経て、太田国土交通大臣への要請、更には繰り返し鉄道局



鉄道局との意見交換会（2013.4）

との折衝を重ねてきた。我々の要望事項が多く盛り込まれた今回の鉄道局関係予算概算要求は、この間のJR連合の活動の成果があらわれたものである。

今後は、財務省との調整を経て、政府予算案が固まっていく。JR連合は本予算案の決定ないしはその後の国会審議において、私たちの要望内容が更に盛り込まれるよう取り組みを展開する。



太田国土交通大臣への要請（2013.6）

以 上